

監査報告書

令和元年5月14日

徳島県知事

飯泉嘉門殿

監事

江本正吾



監事

森口秀一



私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行及び事業報告・計算関係書類及び財産目録について監査を行いましたのでその方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果について

① 法人本部及び各事業所について、事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

・補足事項

法人は、新施設建設を計画し3月末に無事完成させたことを評価する。各事業所は支援の充実とサービス向上等、良好な事業経営に努めていると認めます。

② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果について

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

・補足事項

草の実学園拠点区分 資金収支計算書で予算と決算の差異が大きい箇所には、備考欄に理由を記入。

めだか拠点区分 法定福利費について予算と決算の差が大きいので、計算方法を見直す。

以上